

様式 1

令和 8 年 4 月 1 日

宗像市長 あて

(申請者)

団体名 むなかた大島波波クラブ

代表者氏名

住所

電話番号

令和8年度宗像市元気な島づくり事業補助金交付申請書

令和8年度宗像市元気な島づくり事業補助金において、宗像市元気な島づくり事業を実施したいので、宗像市補助金等交付規則（平成15年宗像市規則第31号）及び宗像市元気な島づくり事業補助金交付要綱（平成17年宗像市告示第34号）に基づき、下記のとおり申請します。

記

1. 目的及び内容

継続事業 2年目

事業名
(20字以内で
記入してください)

むなかた大島波波クラブ（学童保育）

事業の目的
(300字以内で
記入してください)

本事業は、大島において、夏休みや春休みなどの長期休暇期間中に、子どもたちの安全で健全な居場所を提供することを目的としています。
大島にはこれまで学童保育がなく、共働き世帯の増加や祖父母の高齢化により、保護者不在時に子どもが安心して過ごせる居場所の確保が課題となっています。
学童保育を設立することで、子どもたちの健やかな成長を支援するとともに、保護者が安心して働ける環境を整え、地域全体の活性化にも寄与します。

事業の内容
(300字以内で
記入してください)

令和8年度の夏休みと春休みに、大島学園の地域連携室を拠点に、学童保育を実施します。対象は小学1年生から6年生の希望者で、月曜から金曜の8時半から17時に開所します。
午前中は宿題の時間を設け、帰る前に掃除を行います。遊びの時間には、海遊びや絵画、ボードゲームなどの活動を行い、子どもたちの創造力を育みます。
スタッフは、定年退職された教員や大学生アルバイト、ボランティアを中心に、常に2名以上で子どもを見守り、安全に配慮します。人材確保には、市のボランティアサイトや大学のボランティアセンターを活用し、安定した運営を目指します。

宗像市

8.4.-1

第 9 号

様式 2

令和 8 年度 宗像市元気な島づくり事業補助金収支予算書

【収入】			
経費の内訳	予算額		摘要 (内容・積算根拠)
市補助金	(A)		元気な島づくり事業補助金
	500,000	円	
利用料		258,000 円	夏休み¥28,000x6名、春休み¥15,000x6名
		円	
		円	
合計	(B)		
		758,000 円	

【支出】				
経費の内訳	予算額		左記のうち 補助対象経費	摘要 (内容・積算根拠)
報償費	600,000	円	600,000 円	スタッフ：1日¥10,000x30日 2名分
旅費	60,000	円	60,000 円	スタッフ交通費 (渡船除く)
需用費	8,000	円	8,000 円	文具 (画用紙、折り紙、糊など)
役務費		円	円	
委託料		円	円	
使用料及び 賃借料		円	円	
原材料費	10,000	円	10,000 円	食育活動費
小計			(C)	
	678,000	円	678,000 円	

宗像市渡船に係る 旅費			(D)	
	80,000	円	80,000 円	
宗像市渡船に係る 役務費				
		円		円

元気な島づくり事業補助金(A)	【(C)×補助率 0.75 + (D)+(E)】
	計算後、千円未満は切り捨て (最高50万円)
	500,000 円

※経費の内訳は、(1)報償費 (講師料) (2)旅費 (3)需用費 (消耗品費、印刷製本費、光熱水費) (4)役務費 (通信運搬費、手数料、保険料) (5)委託料 (6)使用料及び賃借料 (7)原材料費
 ※補助率は、1年目～3年目…4分の3、4年目…5年目…2分の1
 ※「宗像市渡船に係る旅費及び役務費」は交付期間中、全額補助します。限度額は、全額補助経費と一部補助経費の合計で50万円です。

2. 補助金の額及び算出の基礎									
申請額	500,000								円
算出の基礎	別紙予算書の（様式2号）のとおり								
実施スケジュール	2026年4月～6月：スタッフ確保、学童利用者募集 2026年7月～8月：夏休み学童実施 2027年3月：春休み学童実施								
期待される効果	<p>本事業により、学校長期休暇中の子どもたちが安心して過ごせる居場所が確保され、健全な成長が促進されます。保護者は子どもを安全に預けることができ、就労の継続や家庭の負担軽減につながります。また、地域の定年退職者や学生ボランティアが関わることで、世代を超えた交流が生まれ、地域全体のつながりが深まります。さらに、学童保育の設立が地域の子育て支援の充実につながり、今後の移住促進や地域活性化にも貢献することが期待されます。</p>								
事業の成果を受け	<p>本事業の継続には、補助金終了後の運営体制確立が不可欠です。初期は保護者主体で運営し、将来的には宗像市内の他小学校と同様に指定事業者運営に運営を委託するなど、持続可能な体制を構築する方針です。</p> <p>人材確保が課題となるため、スタッフの継続雇用や働きやすい環境づくりを進めます。また、保護者は昼食の準備やボランティア参加などで協力し、地域との連携を深めながら学童保育を支える体制を整えます。</p>								
補助申請希望期間	補助の継続を希望する場合は、「あり」と希望する年度に○印を記入してください。令和8年度のみ補助を希望する場合は「なし」に○印を記入してください。								
	■昨年度の申請	○	あり		なし				
	■継続の希望	○	あり		なし				
	■継続希望期間		2年目		○	3年目	令和9年度		
		○	4年目	令和10年度	○	5年目	令和11年度		

* 上記の補助申請希望期間において、継続の希望を「あり」とした場合は、次の「次年度以降の事業の概要」に記入してください。

<p>次年度以降の 事業の概要</p>	<p>次年度以降も、夏休みや春休みなどの長期休暇中に学童保育を継続的に実施します。</p> <p>事業運営は引き続き保護者と地域の協力を得ながら行い、前年度のフィードバックを元に体制やルールを改善します。スタッフ同士の交流を促進し、運営の円滑化を図ります。地域のボランティアや大学生の参加を促進し、安定した人材確保を目指します。</p> <p>保護者には昼食準備やイベント協力を促し、地域全体で支える体制を構築します。学童保育を地域の子育て支援の中核として位置づけ、地域活性化にも貢献します。</p>
-------------------------	--

様式 4

令和7年度年度宗像市元気な島づくり事業実績の概要について

<注意> この様式は、令和7年度に補助金を受けた団体のみ提出が必要です。

団体名	むなかた大島波波クラブ
事業名	むなかた大島波波クラブ（学童保育）
実施した事業の内容	<p>* 実施した経過を含めて記入してください。</p> <p>島内の共働き世帯等のニーズに応えるため、大島学園の地域連携室を借用し、長期休暇期間中の学童保育を実施しました。</p> <p>まず、夏季休暇（令和7年7月～8月）に向け、退職教員や大学生ボランティアによる運営体制を構築し、計18日間の開所を実現しました。その後、夏季の運営で見た課題（スタッフ配置や活動メニュー等）を整理し、春季休暇（令和8年3月）においても継続して実施しました。期間中は、学習支援を軸としつつ、海水浴や稲刈り、お絵かき工作など、地域の資源を活かした体験活動を組み込み、延べ72名の子どもたちに安全な居場所を提供しました。</p>
事業の成果	<p>* 課題等を含めて記入してください。</p> <p>島内に学童保育が設立されたことで、共働き世帯等の保護者が安心して就労できる環境が整いました。島独自の活動を通じて子どもたちの郷土愛を育むとともに、退職教員や大学生との世代間交流が生まれ、地域コミュニティの活性化と子育て支援の充実に寄与しました。</p> <p>一方で、行政（子ども育成課）との円滑な連携構築に課題があり、島における将来的な学童保育のあり方や公的な位置付けについての具体的な協議が進まなかったことが大きな課題として残りました。</p>
令和7年度の事業実施を踏まえ、特に令和8年度に取り組むこと	<p>令和7年度の運営実績をもとに、改めて行政との対話の機会を創出し、大島における持続可能な学童保育の体制について協議を重ねます。現場のニーズや実績を明確に提示することで、子ども育成課との緊密な連携を目指します。また、安定した人材確保のため、市のボランティアサイトや大学のボランティアセンターをより積極的に活用し、地域全体で子どもたちを支える体制の強化に注力します。</p>